

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
 - 1) 生活の安心と快適な生活をつくる。
 - ・本格的に改築工事が着工されることに伴い、安全面の配慮および安全対策を最優先に実施する。
 - ・今まで実施してきた支援レベルが低下しないように努める。
 - ・恵まれた自然環境の下で心身のケアを重点的に支援し、きずなでしか体験できない取り組みを積極的に取り入れる。
 - ・利用者が安心して過ごせる居場所の提供およびできる限り遊び場等の確保に努める。(工事期間中)
 - ・母親・子どもそれぞれの自己実現のため支援計画を策定し、計画的に各職種と共同しながら世帯支援(チームケア)を実施する。
 - 2) 利用者から信頼される関係性を構築し、きめ細かい支援を実施する。
 - ・利用者の気持ちに寄り添いながら、「きてよかった」と信頼される支援に努める。
 - ・法令遵守、個人情報、プライバシー保護等を適切に行い、家族支援システムを有効に活用し業務管理を実施する。
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
 - 1) 地域に根ざした施設運営を実施する。
 - ・運営協議会を通して、施設運営に参加・協力してもらい世帯支援を実施する。
 - ・関係機関および自治会と連携し、災害対策や地域支援の拠点として役割を果たせるように努める。
 - 2) 必要な事業展開ができるように内部検討し、職員の意識向上を図りながら地域支援事業の取り組みを行う。
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
 - 1) 職員の資質向上を図るため、法人の人材育成システムを活用し、きめ細かい職員支援を行う。
 - 2) 職員の健康管理に努め、「ストレスチェック」の導入、有休取得率の向上、「心のケア」等職員の安全衛生を推進する。
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
 - 1) 年間入所率(稼働率)90%以上を確保できるように広域利用を積極的に実施する。
 - 2) 緊急一時保護事業を積極的に実施し、施設支援が必要なDV世帯は自治体に一般入所を勧める。

施設の取組

1. 不審者や火等の追跡に対応できるようにマニュアルの見直しを実施し、施設職員が状況に応じて対応できるよう事故防止対策会議を実施し施設内安全管理に努める。
2. 利用者、職員に工事期間中のスケジュールを定期的に発信し、施設内の安全対策を講じる。
3. 職員の育成(OJT)や研修を積極的に行い、各自の専門性を高め、その力が発揮できるよう取り組む
4. 災害に備えるため、備品購入や非常食の確保、月1回以上の避難・消火訓練を行う。
5. 世帯支援の充実やチームケアができるような運営体制づくりを行う。

